



みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 1 月号

鹿沼市立みなみ小学校

TEL 0289-75-4021

令和 6 年 1 月発行

文責：堀江 賢

明けましておめでとうございます。

1 月 9 日（火）から 3 学期が始まり、今回も校長室と各教室をオンラインでつないで始業式を行いました。

初めに、代表児童の 2 年生が、3 学期には「かけ算九九」「挨拶」「係の仕事」を頑張りたいと発表しました。

次に校長から、以下のような話をしました。

元日に能登半島地震があり、多くの人々が被災しました。被災者の救助と被災地の復旧・復興を願うとともに、今このように生活できることに感謝して過ごしたいと思います。

3 学期には、「振り返りの名人」になってください。そして、3 学期が終わったとき、「素敵な一年間だったなあ」と振り返れるように、一日一日を大切に過ごしてください。

3 学期も「笑顔がいっぱい」「できた！がいっぱい」のみなみ小学校になるように頑張ってください。

保護者・地域の皆様、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



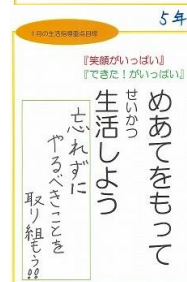
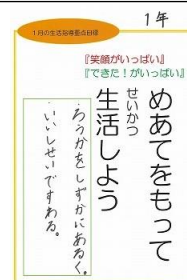
1 月の生活重点目標

めあてをもって 生活しよう

「一年の計は元旦にあり」と言います。3 学期のスタートとなる 1 月に、1・2 学期を振り返って、さらに伸ばしたいことをもとに、めあてをもって生活させたいと思います。

そして、「終わりよければすべてよし」とも言われるように一年間の最後の学期で有終の美を飾れるようにしてほしいと考えています。以下、学級で話し合っただけの具体的な目標です。

- 1 年生 ろうかをしずかにあるく。 いいしせいですわる。
- 2 年生 れんらくちょうを見て、わすれものをしないようにしよう。
- 3 年生 時間を守って生活をしよう。
- 4 年生 話をしっかりきいて、友達のよいところを見つけよう。元気よくあいさつしよう。
- 5 年生 忘れずにやるべきことを取り組もう！！
- 6 年生 授業中に関係ない話をしない。友達を「～さん」と呼ぶ。



～ 卒業式と入学式における来賓としての参列者について ～

鹿沼市の小中学校では、卒業式と入学式において、基本的に学校運営協議会委員と P T A 役員（三役）のみ参列していただくことにいたしました。本地区でも、内容の工夫改善を図り、児童生徒中心の行事運営を行ってきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、関係の皆様以外にはご案内の通知は発送いたしませんので、ご了承ください。

「笑顔がいっぱい」「できた！がいっぱい」

笑顔と感動がある幸せな みなみ小学校



★みなみ小ホームページの QR コードになります。

日々の学校の様子をこまめにアップしております。

また、「みなみ小だより」もカラーでご覧いただけます。

ぜひ、アクセスしてみてください。



令和５年度 学校評価の結果について

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校教育をご支援いただきまして、心より感謝申し上げます。

今年度の学校評価【自己評価】の結果について、概要をお知らせいたします。

「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的な回答をした割合（％）を掲載しました。

（**ゴシック体** は前年度より５ポイント以上増加、**斜体** は前年度より５ポイント以上減少の数値）

	No.	項 目	児 童	保 護 者	教 職 員
学 校 の こ と	１	学校は楽しい。	９５	９９	100
	２	学校は安全で安心して生活できる。	９６	９７	９４
	３	学校ではみんな仲良く生活している。	９４	９５	100
	４	学校にはいろいろな行事や活動があってうれしい。	９５	９８	100
	５	学校では自分に合ったやり方で勉強できる。	92	９３	９４
	６	学校の勉強はよく分かる。	96	８５	８８
先 生 の こ と	７	先生は子供たちを大切にしている。	99	９８	100
	８	先生は子供の話をよく聞いている。（または遊んでいる）	９６	９４	９４
	９	先生はよいところやがんばったことをみとめている。	96	９８	100
	10	先生はよくないことはきちんと注意している。	９８	９８	88
	11	先生は勉強を分かりやすく教えている。	９８	９７	76
児 童 の こ と	12	自分から進んであいさつをした。	86	８７	47
	13	自分から靴箱へかかとをそろえて靴を入れた。	８８	96	100
	14	立腰（りつよう）に気を付けて生活した。	８５	93	８２
	15	自分の考えを進んで発表した。	６４	81	82
	16	話をする人の方を向いて話を最後まで聞いた。	８９	８７	71
	17	本をよく読んだ。	71	44	88
	18	友だちに親切にした。	９４	９５	100
	19	学校のきまりを守って生活した。	９４	９６	100
	20	外で元気に遊んだ。	８９	96	88
	21	「早寝・早起き・朝ご飯」が守れた。	８２	８９	94
	22	事故に遭わないように安全に生活した。	９５	９６	100
	23	めあてに向かって最後までがんばった。	９０	９２	100

【今後に向けて】

- 学校は「楽しい」、「いろいろな行事や活動があってうれしい」、児童は「事故に遭わないように安全に生活した」に高い評価をいただきました。今後も児童を「大切に」し、「よいところやがんばったことをみとめ」ながら指導してまいります。
- 「学校では自分に合ったやり方で勉強できる」、「学校の勉強はよく分かる」と回答した児童の割合が増加しました。さらに児童が「自分の考えを進んで発表できる」よう、児童にとって分かりやすい授業に努め、主体的に学習に取り組む「楽しい授業」の実践に努めてまいります。
- 児童が日常的に読書に親しむことができるように、図書支援員と連携して図書室の整備を行ったり、ボランティアによる読み聞かせを継続して実施したりすることで、読書の楽しさを味わわせるような啓発活動を行うなどの手立てを引き続き講じてまいります。さらに図書室の本を借りる機会をつくって身近に本を置いたり、持ち帰らせたりする工夫を行ってまいります。ご家庭でも読書に親しむ環境づくりにご協力いただけると幸いです。